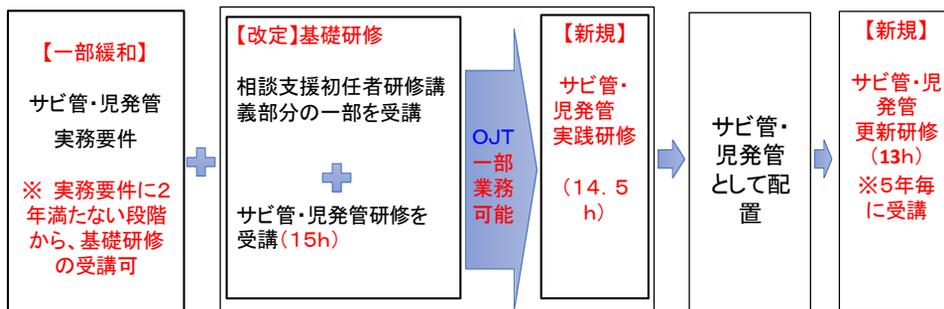


# 令和6年度千葉県サービス管理責任者 児童発達支援管理責任者更新研修 ～ オリエンテーション ～

(特非)千葉県精神障害者自立支援事業協会

1

## 基礎・実践・更新研修の流れ



(注)一定の実務経験の要件

- ・実践研修: 過去5年間に2年以上の相談支援又は直接支援業務の実務経験
- ・更新研修: ①過去5年間に2年以上のサビ管・児発管等の実務経験がある又は②現にサビ管・児発管等として従事

「実務がしっかり行えるサビ管・児発管」へ

3

【例 1：令和元年度に更新研修 1 回目を修了した場合】



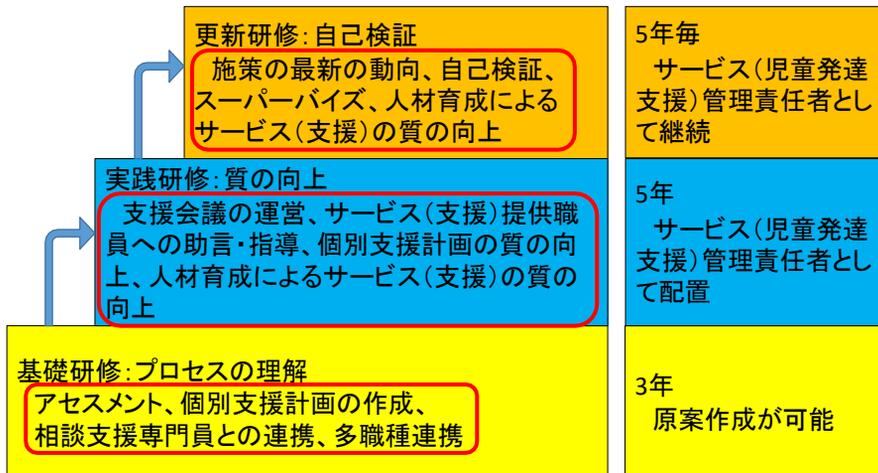
初回の更新研修を修了した翌年度を初年度として、以降 5 年度毎に 1 回更新研修を受講する必要があります。  
令和元年度に更新研修を修了した場合、令和 2 年度から 6 年度までの間に 2 回目の更新研修を修了する必要があります。  
令和 6 年度までに更新研修を修了できなかった場合は、実践研修を修了しなければサービス管理責任者等として従事することができません。

【例 2：令和 3 年度に実践研修を修了した場合】



実践研修を修了した翌年度を初年度として、以降 5 年度毎に 1 回更新研修を受講する必要があります。  
令和 3 年度に更新研修を修了した場合、令和 4 年度から 8 年度までの間に 1 回目の更新研修を修了する必要があります。  
令和 8 年度までに更新研修を修了できなかった場合は、改めて実践研修を修了しなければサービス管理責任者等として従事することができません。

## 基礎研修・実践研修・更新研修のねらい



※人材育成によるサービス(支援)の質の向上: SVによるサービス提供職員の気づき(ハッと  
する、ピンとくる)と自己の業務の検証(批判ではなく)につながるきっかけ作りを行う。仕事  
への感性を高めることにつながる。

# 更新研修の目的・獲得目標

## 【目的】

- ① 行政の動向や制度改正等の最新の情報（アップデート）を得る。
- ② サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としてのこれまでの業務内容を振り返るとともに、知識・技術の更なる向上を図る。
- ③ サービス（支援）提供職員等へのスーパービジョンの方法を学ぶ。

	研修項目	獲得目標
①	障害者福祉施策及び児童福祉施策の動向	最新の動向を学習することにより、利用者の制度的な環境の変化を理解する。
②	サービス（支援）提供事業所としての自己検証	各自事業所の取組状況や地域との連携の実践状況を出し合うことにより、コンプライアンスを理解し、今後の事業所としての取組を明確して実践に活かす。
②	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての自己検証	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての自らの業務を振り返り、支援のあり方や地域とのかわり方、今後自ら取組むべき課題を明確にして実践に活かす。
②	関係機関との連携	関係機関と連携について支援方針の基本的な方向性や支援内容を左右する事項に重点を置いてグループワークを展開し、関係機関の連携方法を理解して実践に活かす。また（自立支援）協議会の役割を理解する。
③	事例検討	サービス（支援）提供職員へのスーパービジョンの具体的な技術を獲得し、実践に活かす。

## 更新研修カリキュラム(国標準)

科目	内容・目的	時間数	更新研修の目的のキーワード
1. 障害福祉の動向に関する講義（1時間）			<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度的環境の変化を認識</li> <li>・自事業所の実践状況を共有、今後の取組み課題を明確化等</li> <li>・サビ管・児発管として自らの振り返り、今後自らの取り組むべき課題を明確化等</li> <li>・関係機関と連携した事例を共有、連携の重要性の理料と協外界の役割の再認識等</li> </ul>
障害者福祉施策の最新の動向（講義）	・障害者福祉施策の最新の動向について理解することで、利用者の置かれている制度的環境の変化を認識する。	60分	
2. サービス提供の自己検証に関する演習（5時間）			
事業所としての自己検証（演習）	・グループワークを通じて、各自の事業所の取組状況や地域との連携の実践状況を共有することにより、コンプライアンスを理解し、今後の事業所としての取組を明確にする。グループワークの成果を発表し、各自まとめる。	90分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパービジョン（SV）の基本的理解</li> <li>・事例を通じて支援内容の検討、事例提供者をSV体験</li> <li>・事例を通じて職員へのSVを理解。技術の獲得等</li> <li>・研修で得られた知識・技術を活用して、サビ管・児発管としてスキルアップを図る方をグループワーク</li> </ul>
サービス管理責任者としての自己検証（演習）	・サービス管理責任者として自らを振り返り、自己覚知を促し、支援のあり方や地域との関わり方、今後の自らの取り組むべき研修課題を明確にする。グループワークにおける討論を通じて、各自まとめる。	120分	
関係機関との連携（演習）	・関係機関と連携した事例に基づき、支援方針の基本的な方向性や支援内容を左右する事項に重点を置いてグループワークを展開することにより、関係機関との連携を理解するとともに、（自立支援）協議会の役割を再認識する。	90分	
3. サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習（7時間）			
サービス管理責任者としてのスーパービジョン（講義）	・サービス管理責任者として、事例検討のスーパービジョン及びサービス提供職員等へのスーパービジョンに関する基本的な理解を深める。	180分	
事例検討のスーパービジョン（演習）	・事例を通じて、支援のあり方、支援方針、支援の内容を検討し、優良な点や改善が必要な点について、グループワークによって明確化することによってスキルアップを図る。また事例について、スーパーバイズを体験する。	60分	
サービス提供職員等へのスーパービジョン（演習）	・事例を通じてサービス管理責任者等としてサービス提供職員等へ実施するスーパービジョンの構造や機能を理解し、具体的な技術を獲得する。	120分	
研修のまとめ（演習）	・研修で得られた知識・技術を活用して、サービス管理責任者としてのスキルアップを図る方策について、グループワークにおける討論を通じてまとめを行う。	60分	
合計		13時間	

## 更新研修1日目カリキュラム(オンデマンド)

オリエンテーション(10分)	研修の概要および研修の意義について理解する。
【講義】 障害福祉施策の最新の動向(60分)	障害者福祉施策の最新の動向について理解することで、利用者の置かれている制度的環境の変化を認識する。
【講義】 サービス管理責任者(児童発達支援管理責任者)の業務(45分)	サービス管理責任者(児童発達支援管理責任者)としての業務・役割について確認する。
【講義】 関係機関との連携(45分)	関係機関との連携について支援方針の基本的な方向性や考え方の習得を行う。
【講義】 サービス管理責任者(児童発達支援管理責任者)としてのスーパービジョン(120分)	スーパービジョンの基本的な理解を行う。
【講義】 スーパービジョンの進め方 (サービス提供職員への個別スーパービジョン)(50分)	個別スーパービジョンの実践の場について模擬動画を参照し、学びを得る。
【講義】 スーパービジョンの進め方 (事例検討型グループスーパービジョン)(50分)	事例検討型グループスーパービジョンの実践の場について模擬動画を参照し、学びを得る。
演習前オリエンテーション(10分)	2日目の演習に向けた課題を理解する。

## 更新研修2日目カリキュラム(対面)

【講義】 オリエンテーション オンデマンド講義振り返り(30分)	本研修の概要および研修の意義について理解する。 オンデマンドで実施した内容の振り返りを行う。
【演習】 事業所としての自己検証 サービス管理責任者(児童発達支援管理責任者)としての自己検証(130分)	各自事業所の取組状況や地域との連携の実践状況を出し合うことにより、コンプライアンスを理解し、今後の事業所としての取組を明確して実践に活かす。 サービス提供(児童発達支援)責任者としての自らの業務を振り返り、支援のあり方や地域とのかわり方、今後自ら取組むべき課題を明確にして実践に活かす。 上記演習内容にて、グループで決定した事項において検討を行い、全体共有を行う。
【演習】 関係機関との連携(60分)	関係機関と連携について支援方針の基本的な方向性や支援内容を左右する事項に重点を置いてグループワークを展開し、関係機関の連携方法を理解して実践に活かす。また(自立支援)協議会の役割を理解する。
【演習】 サービス提供職員等へのスーパービジョン(70分)	事例を通じてサービス管理責任者としてサービス提供職員等へ実施するスーパービジョンの構造や機能を理解し、具体的な技術を獲得する。
【演習】 事例検討のスーパービジョン(80分)	事例を通じて、支援のあり方、支援方針、支援の内容を検討し、優良な点や改善が必要な点について、グループワークによって明確化することによってスキルアップを図る。また事例についてスーパーバイズを体験する。
【演習】 研修のまとめ(25分)	研修で得られた知識・技術を活用して、サービス管理責任者としてのスキルアップを図る方策について、グループワークにおける討議を通じてまとめを行う。
修了証交付	